



# 憲法施行70年の年

## 憲法とは何か

## みんなで考えましょう

中央執行委員長 小野泰司



自らに課せられた憲法擁護義務を忘れたかのごとく、改憲にひた走る安倍首相。第二次政権発足以来、改憲の本丸である9条は横に置き、まずは改憲の手続きを定めた96条の改憲に意欲を見せたものの、改憲派からさえも「裏口入学であり言語道断」などと批判されたため、次は緊急事態条項に目をつけ、さらに今回は9条の維持と自衛隊の明記。このようななりふり構わない安倍首相の姿から、国民や民主主義を軽視しながらも、国民の共闘が進むことへの恐れ、そして焦りというものを見てとることが出来ます。

いつになくひんやりとした4月の涼しさの中、例年より長く咲いていた桜の花も散り、ようやく5月がやってきました。

「香りより 味へ (あじわえ) 新茶の入れ加減」  
これは、先日、5月3日付神戸新聞が社説で紹介した、70年前の5月3日に掲載された神戸新聞一面コラム「正平調」の結びの一節です。新しい憲法の施行をただありがたがるのではなく、自分たちのものとして生かすことを考えようという呼びかけだったといえます。憲法学者の故奥平康弘さんの言葉、「国民が憲法と向き合い、活用していく中で、その精神が力を発揮する」にもつながるこの一節にふれ、あの凄惨な戦争が終わり、新しい憲法、しかももう戦争はしないということを明記した憲法の施行を、当時の国民はどのような気持ちで受け止めたのだろうか、そして今、私たちはこの憲法とどのように向き合っているのだろうか、そのことを考えずにはいられません。

その同じ5月3日、安倍首相は「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と表明し、9条を維持した上で自衛隊の存在を憲法に明記すると「提案」しました。

1月に姫路市で開催された「ひょうご教育のつどい」の全体会で講演頂いた八法亭みややっこさんは、その著書の中で「a stitch in time saves nine」という言葉を紹介されています。「適切なきに一針縫っておけば後で九針縫う手間が省ける」という意味だそうです。翻って、このことを私たち自身の問題として考えるとどうでしょうか。ともすれば、政治や社会に目を向けることができないほど日々押し寄せてくる多忙化の中ではありますが、それでも今、私たちは、その一針をしっかりと縫うべき大切な歴史的局面にたたされているのです。

憲法施行70年の今年、安倍首相が進める改憲の先には何があるのか、戦後70年間、憲法が護られてきたことの意義とは何なのか、私たちがなすべき「一針」について、ともに考え、行動していきましょう。



発行所  
神戸市中央区北長狭通5-2-10  
兵庫県高等学校教職員組合  
TEL 神戸(341)6745~6747  
E-mail  
honbu@hyogo-kokyoso.com  
http://www.hyogo-kokyoso.com  
発行人 兵庫県高等学校教職員組合中央執行委員長 小野 泰司  
編集人 綿中 義人  
定価 1部 20円  
半年分 120円  
組合員の購読料は組合費を含め徴収

今年度もよろしく  
お願いします  
組合加入のご相談や組合  
に対するご質問、全教共  
済についてのご質問は、  
高教組本部に気軽にお問  
い合わせ下さい  
TEL 078-341-6745



### 神戸市立高等学校教職員組合

執行委員長 島津茂久

兵庫高教組の皆さん、それぞれの職場で日々ご奮闘のことと思います。今年度、水川景三神戸市高前執行委員長より、その職を引き継ぐことになりました。昨年度まで2期に渡り書記次長として市高の運動に関わってきましたが、三役経験のない私にとってこの重責に耐えられるのか

今も不安はあります。

24年程前、当時の市高の青年部として高教組の青年部と交流していた時期があります。その頃の高教組の青年部メンバーには小野委員長や谷副委員長の顔もありました。時を経てまた一緒に運動を勢いのあるものにできるよう、様々な課題に立ち向かっていこうと思っています。皆さんのご支援をよろしくお願いいたします。

### 従業員組合

執行委員長 中本典昭

従組委員長として4年目を迎えましたが、いまだに至らない点が多く、ご迷惑をおかけしております。ご協力とご理解に感謝申し上げます。

私たち技能労務職員は、教育現場において幅広い業務を担っており、快適な学校を目指し、各分野で仕事に専念しております。しかし、採用試験が中止になって10年以上が経ち、この間県教委は、退職不補充で定員の削減を進めてきました。生徒数が減り学級数も減少傾向にありますが、私たちの職務内容は以前と変わらず、

以前は複数で行っていた作業を一人で行っている学校現場も多数あります。

全国的に見ても、技能労務職員に対し国から強い指導がある中、今後も厳しい状況に置かれていくことが予想されますが、兵庫の現場にとって技能労務職員は重要な職であり、民間委託では対応できる業務内容ではないということを県教委に強く申し入れ、採用試験の早期再開と私たちの士気の向上につながる職場環境を目指し、組合員の皆様とともに頑張っていきたいと思っております。

### 障害児学校教職員組合

委員長 市位葉子

「特別支援学校、在籍者急増で3400教室不足」と朝日新聞デジタルが報じました。教育条件の悪化で、支援の難しい子どもの対応に慢性的に疲れている教員のストレスがさらに高まる毎日。そんな中で「人間を大切にする学校づくりを一

緒に進めよう」という呼びかけにこたえて、若い先生の組合加入が相次ぎでいます。今年の執行部は20代30代が4割を占めるという若返り！運動のバトンリレーは、ベテラン層の上手な並走にかかっています。

## 2017年度執行部役員

委員長	小野 泰司	のじぎく特別支援
副委員長	水川 景三	六甲アイランド
〃	中村 邦男	武庫荘総合
〃	佐和 良一	芦屋特別支援
〃	松岡 敦之	明石清水
〃	谷 充弘	専従 (神戸聴覚)
書記長	綿中 義人	専従 (但馬農業)
書記次長	川村 淑子	明石南
〃	中村 太郎	飾磨工業
〃	岡本 匡史	明石清水
中央執行委員	松本 美可	姫路工業
〃	中本 典昭	芦屋
〃	永井 章夫	市立伊丹
〃	雨松 康之	本部書記局
〃	福田 秀志	尼崎小田
〃	神田 典和	猪名川
〃	福住 宏之	西宮南
〃	小玉 雄介	伊川谷北
〃	赤松 弘基	高砂
〃	稲次 寛	北条
〃	渡邊 浩行	飾磨工業
〃	栗原 英之	太子
〃	白岩 隆司	八鹿
〃	森井 洋子	北摂三田
〃	野口 遵	洲本実業

役員一同高教組運動の発展のために奮闘  
します。どうぞよろしくお願いいたします。

# 長い間高教組を支えていただきありがとうございました



3月31日、高教組会館にて

春の陽射しの中で、退職の日  
にむけての感慨に浸っています。  
はるか昔、学校に着任早々最初  
に昼食に誘っていただいたのが  
組合の役員さんでした。みんな  
加入しているからあなたも入り  
なさいという声かけをもらっ  
たと思います。学生気分も抜け  
きっておらず、まあ付き合いな  
ら仕方ないなど加入届けを書き  
ました。以来38年間組合運動を  
通じて自分の考え方を広げ、行  
動の仕方を鍛えてもらったよう  
に思います。今では当たり前前



神戸市高  
六甲アイラ  
ンド分会  
水川景三

## 春風駘蕩無欲恬淡

さまざま労働条件や教育条件  
などは、それでは困るという切  
実な声をあつめて運動を積み上  
げた結果であるということを実  
感しています。日々働いている  
中で感じる矛盾を解決するため  
に情報を共有しながら解決にむ  
けた筋道を探る、そうした組織  
がきちんと社会的に認められ  
存在していること自体がすばら  
しいことなのだと思います。誰  
かが決めるのではなくて、みん  
なで決めてみんなできりくむこ  
とを大事にする民主的な組合運  
動の重要性はますますたかまっ  
ていると思います。ひとしきり  
春宵を味わいつつ「秋霜烈日不  
撓不屈」の精神を呼び起こさね  
ばと感じています。

新採用二年目の5月に加入し  
た次の年、高教組青年部で、当  
時全国の非行退学生を集め『教  
育は死なず』で有名になった長  
野県の篠ノ井旭高校に訪問し、  
向こうの組合員の先生方から話  
を聞いた。校長の本では分から  
ない現場教師の努力に感嘆した。  
これが私の教員としての出発点  
である。

また、支部執行委員をしてい  
た縁で宝塚の「夜回り先生水谷  
修講演会」の実行委員会メンバ  
ーとなり、間近に水谷氏に会い、  
その後さまざまな著書を読んだ  
ことが、教員生活の転機となっ  
た。これ以降「この子には私が  
必要なんだ」と思って生徒と接  
するようになった。  
さらに佐藤学先生の提唱する  
「学びの共同体」を勉強するた  
め実施した支部教研に、大阪の  
金岡中学の先生に来ていただい  
た縁で、個人的に金岡中学の授  
業見学に行った。こんな授業も  
あるのか、いつかやってみたい、  
と思っているうちに世は「学び  
の共同体」を言い換えたような  
「アクティブラーニング」を唱  
え始めた。支部の宴会でこれは  
民主主義を広げる好機だという  
示唆を受け、実は再任用に俄然  
やる気を出しているところであ  
る。組合に磨かれ高められてき  
た教員生活。若い人にもおス  
スメしたい。

## 2016年度 組合員退職者名簿 (敬称略)

- 【神戸市高】  
河野 浩(葺合)  
水川 景三(六アイ)

- 【尼崎支部】  
加藤 弘子(県尼崎)  
神内 紅子(阪神特支)  
江原 節子(市尼崎)  
藤田 祐子(尼崎双星)
- 【東阪神支部】  
足立 昌夫(伊丹西)  
浅野 淳子(伊丹西)  
山崎 潤一(市伊丹)  
渡辺美佐子(市伊丹)  
岡本由利子(川西明峰)  
森野雄二郎(川西明峰)  
加納 友子(宝塚北)
- 【西阪神支部】  
上野いずみ(芦屋)  
森本 秀美(県西宮)  
飾森 宏(市西宮)  
田頭 憲一(西宮今津)
- 【県高支部】  
川飛 妙子(神戸高塚)  
岸井由樹子(神戸商)  
有田 哲郎(神戸商)
- 【東播支部】  
先馬 耕一(明石城西)  
原田 文孝(いなみ野)  
板崎 良子(いなみ野)  
東条真優美(いなみ野)  
辰己 敬一(東播工)  
中田 晶代(錦城・定)  
小野 延子(播磨南)
- 東田 純一(明石)  
木村 俊英(明石西)
- 【北播支部】  
木田 正喜(西脇)  
中村 智行(西脇工)  
本田 光子(西脇工)  
赤松由起子(北はりま)
- 【中播支部】  
山口 聡(香寺)  
前田 良彦(飾磨工)  
木村 雄二(姫路特支)
- 【西播支部】  
鶴谷 光伸(山崎)  
里路 正(上郡)  
池田 吉次(西はりま)  
浦上壽一朗(赤穂)  
安東 慈(赤穂特支)
- 【但馬支部】  
宮下 俊裕(豊岡)  
山下 正宏(出石特支)  
川口 八郎(八鹿)  
藤原 章弘(八鹿)  
千葉青美(和田山特支)
- 【丹有支部】  
佐竹 貞春(三田西陵)  
北村 一也(上野ヶ原)  
中川 郁三(氷上特支)
- 【淡路支部】  
中尾 巧(洲本実業)



いなみ野  
特別支援  
分会  
原田文孝

## 人間観を鍛える

私は、7年前、施設訪問  
学級に転勤になって、糸賀  
一雄氏の「福祉の思想」を  
再読しました。糸賀氏の  
「この子らを世の光に」の  
思想は、重い障害の人たち  
の中に人間にとって大切な  
ことを見つけ、私たちの人  
間観の転換をしていく営み  
であると確認しました。

相模原障害者施設殺傷事件  
が起きました。容疑者の青  
年は、優生思想や能力主義  
的人間観の持ち主であると  
伝えられています。この事  
件について、東京大学の福  
島智氏は、障害者差別は能  
力の低さに対する差別であ  
るとし、さらに、障害のな  
い人間どうしでの能力差を  
どう考えるのか、根っこは  
つながっていると看破して  
います。教育の世界に人間  
を差別する思考や制度が潜  
在的にはびこっていないで  
しょうか。私は、組合運動  
の役割の一つは、生徒や同  
僚の理解とその意識を規定  
する条件の改善を通して、  
人間観を転換していくこと  
だと思っています。お世話にな  
りました。



豊岡高校  
分会  
宮下俊裕

## 退職するにあたって

勤め始めた頃、最近の職  
員会議とは違い、意見を言  
うのが当たり前で、時には  
長時間にわたることもあり  
ました。また、勤務終了後  
も毎日のようにコーヒーを  
飲みながら授業や生徒のこ  
とだけでなく、仕事以外の  
ことも含めて雑談をしてい  
たのが懐かしく思い出され  
ます。この頃に得たものが  
仕事をしていく上での原点  
になったと思います。  
もう一つは何ととっても、  
八鹿高校事件を1人の生徒  
として経験したことです。  
当時の状況を実際に高校生  
の目で見て感じたこと、社  
会についていろいろな角度  
から真剣に考えたこと、そ  
してそれが社会的に意味を  
もったことはとつても大き  
な事でした。その経験から  
高校生を社会の中の一員と  
してしっかりと認識する必要  
を感じました。  
最近では意見を戦わす機会  
もめっきり減ってきて、何  
かすべてを自分の世界の中  
で完結させてしまっている  
気がします。やはり外の世  
界を知ることが成長してい  
く上で必要で、その場を提  
供してもらったのが組合だっ  
たとも思っています。  
長い間、本当にありがと  
うございました。

## 組合員だからこそ送れた教員生活

川西明峰高校分会 森野雄二郎

た。これ以降「この子には私が  
必要なんだ」と思って生徒と接  
するようになった。  
さらに佐藤学先生の提唱する  
「学びの共同体」を勉強するた  
め実施した支部教研に、大阪の  
金岡中学の先生に来ていただい  
た縁で、個人的に金岡中学の授  
業見学に行った。こんな授業も  
あるのか、いつかやってみたい、  
と思っているうちに世は「学び  
の共同体」を言い換えたような  
「アクティブラーニング」を唱  
え始めた。支部の宴会でこれは  
民主主義を広げる好機だという  
示唆を受け、実は再任用に俄然  
やる気を出しているところであ  
る。組合に磨かれ高められてき  
た教員生活。若い人にもおス  
スメしたい。